

# 長期戦略:テーマ 「高度職業人の養成」

提出日 2020年 8月 25日

担当部署

## II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小菅副学長(総括) (学長室大学院課)	実施計画の 担当部署	総合企画部
-----------------------	------------------------	---------------	-------

### 1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
2-(4)-① 経済団体等とのチューニング・プロジェクトの立ち上げ・検討実施	2019年度	2021年度	必要なし	不要
<b>内容</b> 文系における大学院で育成する「高度職業人」への需要は、知識基盤社会の進展や、人口減少による生産性向上の必要性、修士・博士学位が重視される海外でのビジネスの増加等に伴って拡大することが予測されるものの、現状では産業界の要望と大学の人材育成の方針が一致しておらずミスマッチが起きている。このため、欧州で進められている、産業界と大学界で人材像や「求められる資質」を調整する「チューニング・プロジェクト」に経済団体等と協力して取り組み、企業との連携を深める中で新たな市場を開拓する。最終的には、新たな文系修士プログラムの創設をめざすが、当面の3年間については、「チューニング・プロジェクト」の導入検討・立ち上げを主眼とする。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	構想案策定の有無	経済団体等との「チューニング・プロジェクト」に関する構想案策定の有無		
指標2				
指標3				

## 目標1&lt;指標1&gt;構想案策定の有無

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	—	—	構想案の策定	—		
実績	—					

## 目標2&lt;指標2&gt;

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標						
実績						

## 目標3&lt;指標3&gt;

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標						
実績						

## 2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
経済団体等との チューニング・プ ロジェクトの検討・ 実施	策定段階	検討	検討	構想案の策定	学内調整	実施
	2021 年 3 月 末段階	—	—	—		
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	—
	策定段階	実施・見直し	実施・見直し	実施・見直し	実施・見直し	
	2021 年 3 月 末段階					
		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	策定段階					
	2021 年 3 月 末段階					
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	—
	策定段階					
	2021 年 3 月 末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2021 年度 承認	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2021 年度 承認	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	左記以降
非公開							

## 4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	関西生産性本部と、学長を座長とした企業の人材ニーズと大学院教員のマッチングに関する研究プロジェクトの立ち上げ準備を行った。
2020 年度	
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

## 5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	「チューニング・プロジェクト」策定をめざし、関西生産性本部との懇談・検討（共同研究含む）を進める。
2020 年度	関西生産性本部に参画している企業を対象に、ニーズ・実態調査を行う。その後、ニーズ・実態調査における結果を分析し、2021 年度に向けた構想案の策定をめざす。
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

## 6. 学院総合企画会議の基本方針

2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	

2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

## 7. Total Review の結果

## 【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
・関西生産性本部と連携し、民間企業が求める人材(大学院修了者)に関するアンケート調査を行った。今後、当該調査結果を基に、大学院教育の在り方について提言を行う予定である。	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止	・同左

## 【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止	